

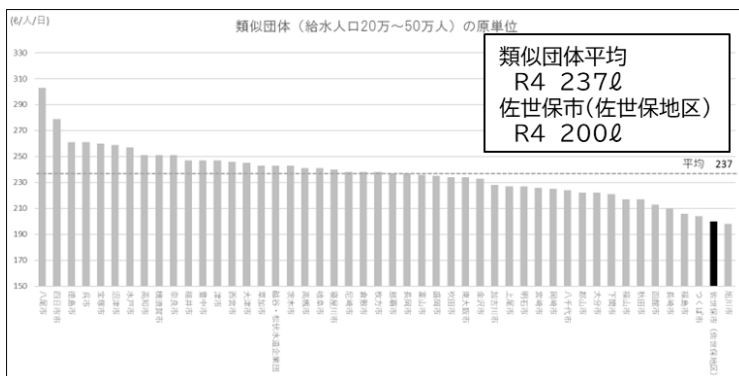
Q8 本当に石木ダムって必要なの？

A 石木ダムは、水道供給の安定化のための必要最小限の事業です。

市民の使用水量は全国最少水準

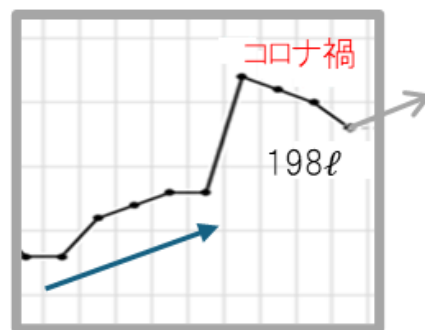
本市は、水源不足に伴う節水型の事業経営により、市民一人一日あたりの水道使用量は、全国最少水準となっています。

人口の入れ替わりや渇水を知らない世代が増えてきたこと等から、近年は平均値に向かって徐々に回復しています。



近年は回復傾向にあります、 石木ダムでは最小限度の水源確保としています

佐世保市民の皆様には、平均的な水使用をしていただけるようにしたいところですが、石木ダムの計画では、20年後の使用水量を216ℓ（上グラフで見ると下から6番目）と見込んでおり、必要最小限度の水量としています。



佐世保市の発展を支えていくための水源確保計画

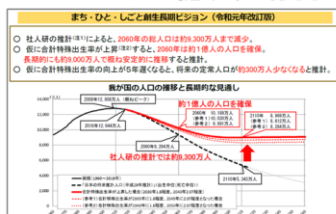
現在、佐世保市の人口は減少傾向を辿っており、今のまま何もしなければ、街が衰退していくことになります。

国は、40年後に1億人を維持する人口ビジョンを示しています。本市でも、人口減少を抑制するために様々な政策を展開しているところです。

水源開発もその一環を担っており、市民生活の向上や産業育成、企業誘致（雇用確保）等の諸政策を支えています。

都市の健全な発展を支えていくためには、最低限の水源確保が不可欠です。

国は40年後1億人を維持



国の人口ビジョンと整合

